

本文

※例文は学習用です。

- ① 弗レ慮ヲ胡ッ獲ン。／慮らずんば胡ぞ獲ん。
- ② 天ニ無シニツノ日ハ。／天に二つの日は無し。
- ③ 己ノ所ヲ不レ欲セ、勿カレ施スコト於人ニ。／己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。
- ④ 過テバ則チ勿カレ憚ルコト改ムルニ。／過てば則ち改むるに憚ること勿かれ。
- ⑤ 莫カレ愁フルコト前路ニ無キヲ知ル己ヲ。／前路に己を知る無きを愁ふること莫かれ。
- ⑥ 我ハ非ズ生マレナガラニシテ知ル之ヲ者ニ。／我は生まれながらにして之を知る者に非ず。
- ⑦ 学ビテ而時ニ習フ之ヲ、未ダ嘗テ不ンバアヲ説バ。／学びて時に之を習ふ、未だ嘗て説ばずんばあらず。
- ⑧ 未ダ知ラ生ヲ、焉クンゾ知ラン死ヲ。／未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らん。
- ⑨ 過チテ而不レ改メ、是ヲ謂フ過ト。／過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。
- ⑩ 知ル之ヲ者ハ不レ如カ好ム之ヲ者ニ。／之を知る者は之を好む者に如かず。
- ⑪ 国ニ無シ人ナル莫シ。／国に人無きこと莫し。
- ⑫ 子ハ非ズ我ニ、安クンゾ知ラン我ヲ。／子は我に非ず、安くんぞ我を知らん。
- ⑬ 朝ニ聞カバ道ヲ、夕ニ死スルモ可ナリ。／朝に道を聞かば、夕べに死すとも可なり。

設問

1. ①の「弗」の読みと意味を答えよ。「不」との関係にも触れること。
2. ②の「無」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
3. ③の「勿」の読みを答えよ。また、ここでの「勿」が表す意味（用法）を答えよ。
4. 次の傍線部の読みとして正しいものを後から選び、記号で答えよ。
「過テバ則チ勿カレ憚ルコト改ムルニ」(④)の「勿」
。 ア なシ イ なかれ ウ あらず エ いまダ〜ず
5. ⑤の「莫」の読みを答えよ。また、この「莫」は禁止か、存在の否定か、いずれであるか答えよ。
6. 「非」が打ち消しているのは、動作・状態か、それとも判断（断定）か。⑥を例に簡潔に説明せよ。
7. ⑦「未だ嘗て説ばずんばあらず」は、否定の語が二つ重なっている。これは結局どのような意味になるか、現代語で答えよ。
8. 「未」が再読文字であるとはどういうことか。⑧を例に、二度目にどう読むかも含めて説明せよ。
9. ⑧「未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らん」を現代語訳せよ。
10. 傍線部「不」(⑨⑩)の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
11. ②の「無」と①の「弗」とでは、打ち消している内容がどう違うか、簡潔に説明せよ。
12. ④の「勿」も③と同じ用法である。この用法を漢字二字で何と呼ぶか答えよ。

13. ②の「無」、⑪の「莫」、③の「勿」のうち、「禁止」を表しているものをすべて選び、番号で答えよ。
14. ⑫・⑥の「非」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
15. ⑦・⑧の「未」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。
16. 次の各句を書き下し文に直せ。
- (1) 過チテ而不レ改メ。(⑨前半)
 - (2) 天ニ無シニツノ日ハ。(②)
 - (3) 未ダ知ラ生ヲ。(⑧前半)
17. 次の各句を現代語訳せよ。
- (1) 己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。(③)
 - (2) 子は我に非ず。(⑫前半)
 - (3) 未だ生を知らず。(⑧前半)
18. 「莫」には二つの用法がある。⑪と⑤を比べ、それぞれの「莫」の用法(意味)の違いを説明せよ。
19. 「非」を用いて「これは私の物ではない」という意味の漢文を作るとき、「我が物」を打ち消すにはどの否定語が最も適切か。「不・無・非・未」から選び、その理由を簡潔に述べよ。
20. 「不」「無(存在の否定)」「非」「未」について、それぞれ「何を打ち消す否定か」を一語ずつで整理して説明せよ。(記述)
21. 「莫」「勿」が「～なかれ」と読まれて禁止を表すとき、相手にどのような気持ちを伝える表現になるか。具体例を一つ挙げながら、四十字程度で説明せよ。(記述)